

報 告

公益財団法人テクノエイド協会主催 平成 28 年「福祉用具」関係者新年交流会

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 理事
医療法人社団永生会 石濱 裕規

1. はじめに

福祉用具関係者の意見交換、情報共有及びネットワーク形成の場として、平成 25 年より公益財団法人テクノエイド協会が主催している「福祉用具」関係者新年交流会（1 月 19 日 アルカディア市ヶ谷）の概要を報告する。

2. 関連団体報告会・懇親会の概要

参加者約 130 名（主催者）、福祉用具関連企業、医療機関、関連法人・学術団体の他、厚労省・経済産業省などの多様な参加構成で、5 団体の報告と懇親会が開催された。

1). 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部

a). 障害者自立支援機器等開発促進事業、b). シーズ・ニーズマッチング交流会、c). 地域における障害者の自立支援機器の普及促進の 3 事業が報告された。b) 交流会は、本年度は 2 月 12 日（金）に東京・TOC 有明で開催が予定されている。また、c) は、新たに「障害者支援機器拠点（仮）」を都道府県等に設置する地域生活支援事業である。

2). 一般社団法人日本補聴器工業会

難聴・補聴器の大規模調査結果（JapanTrak2015）（n=14,316）より、難聴者比率に大差はないが、補聴器利用率では、欧州各国 30-40% に比べ日本は 13.5% であること、さらに使用満足度が低く、公的補助・医師の関与が少ない日本の実情が報告された。併せて、補聴器利用と認知症との関連に関する最新知見も大橋理事長より報告された。

3). 一般社団法人日本福祉用具供給協会

財務省「財政制度分科会」等を受け、6 月 30 日

閣議決定の「経済財政運営と改革の基本方針 2015（骨太の方針）」で、軽度者への福祉用具給付自己負担化案が提示されている。それを受け、現行制度を維持する立場から、同協会による緊急調査「利用している福祉用具の代替手段に関する調査」等の中間報告がなされた。

4). 金沢福祉用具情報プラザ

福祉用具貸出システムの紹介・実績、そして課題が、一利用者にあった福祉用具提供のためにという副題のもと、館長より報告された。

5). 公益財団法人テクノエイド協会

a). 介護ロボットの実用化・普及の取り組み、b). 福祉用具プランナーの養成、c). 補聴器の適切な装用に向けた取り組み、d). 義肢装具士国家試験の実施の主要事業が報告された。

懇親会での各団体挨拶では、繁成会長より、協会の概要および最近の国際連携推進活動の近況をお話頂いた。厳しい昨今の状況の中で、関係者・団体間における交流・連携の重要性を実感した。



図 1 懇親会での繁成会長挨拶